

I 12・1月の連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月 日	名 称	主 催	内 容
12/3(土) ～4(日)	コミッショナー任務 別研修	日本連盟	土浦市青少年の家で開催。関東ブロック開設 研修。
12/17(土)	防災キャラバン	日本連盟	イオンモール水戸内原で開催

II 事務局からのお知らせ

(1) 土浦市総合防災訓練 参加報告

目 的：地域防災計画に基づき、災害応急対策の実践的な訓練を実施し、防災活動の習熟および住民の防災に関する理解と意識の高揚を図ることを目的とする。

※茨城県連盟は土浦市と防災協定を締結しており、代表して土浦第3団のボーイ隊5名および指導者（土浦第5団・阿見第1団・土浦第3団）が参加した。スカウトは初期消火訓練および給食・給水訓練の袋詰め作業を担当し、指導者は展示ブースを担当した。

日 時：2022年10月22日（土） 8:00～11:00

場 所：土浦市消防本部（メイン会場）、土浦一中・土浦六中（サブ会場）

参加団体：霞ヶ浦河川事務所、陸上自衛隊、土浦警察署、土浦市消防団、土浦市防火・危険物安全協会、葛飾区（応援協定締結都市）、災害時応援協定各社、ボーイスカウト茨城県連盟他

訓練内容：メイン会場

開始時間	訓練項目	開始時間	訓練項目
07:59	シェイクアウト訓練	09:15	救出救助・障害物撤去訓練
08:00	災害情報伝達訓練	09:35	休憩
08:02	災害対策本部設置訓練		給食・給水訓練
08:05	避難所開設訓練	09:55	ライフライン復旧訓練
08:20	初期消火訓練	10:15	救援物資受入れ訓練
08:40	応急救護および救急搬送訓練	10:25	火災防ぎょ
09:00	情報収集・伝達訓練	10:45	終了式



Ⅲ コミッショナーよりのお知らせ

(1) 富士章の県連盟面接をしました

第2地区より申請のあった、水戸第2団 縣 巧琉（あがた こうりゅう）さんの富士章県連盟面接を実施しました。縣スカウトは新型コロナウイルスで活動が制限される中でも、工夫しながら、できることを探しつつ、富士章にチャレンジしていました。面接では、自身の体験を語りながら、「多くの後輩スカウトが、自信をもって世界ジャンボリーなどの大きな大会に参加できるよう、サポートしていきたい」と夢を語ってくれました。

富士スカウトは初級スカウトからの積み重ねがあって誕生します。活動の記録をとること、記録を整理してポートフォリオとして保存すること、企画書・計画書を書くこと、実施した活動を記録し報告書にまとめること、ちかいとおきての実践につとめること……。それらを初級・二級・一級のうちからスカウトに指導し、できるようにすることで、菊章・隼章・富士章につながっていきます。



Ⅳ 各種委員会よりのお知らせ

(1) プログラム委員会

① ベンチャーラリー2022 について

11月13日に各地区の実行委員のベンチャースカウトが集まって第1回実行委員会を開催しました。決定した企画は、「青春18キップで大阪へ行こう」です。班対抗で数々のミッションをクリアしながら大阪まで行って、大阪のベンチャースカウトと交流しようという試みです。12月に第2回の実行委員会を開催して内容を詰めていきます。多くのスカウトの参加を期待しています。

② IBグランプリ 2022 について

IBグランプリ県大会は3月19日に開催予定です。会場は現在選定中ですが、そろそろ地区大会が開催されると思いますので、各地区からのエントリー台数をお知らせいたします。

◆Bクラス（ビーバー部門）

1地区3台 2地区12台 3地区4台 4地区11台 5地区6台 6地区8台 計44台

◆Cクラス（カブ部門）

1地区8台 2地区24台 3地区15台 4地区23台 5地区16台 6地区10台 計96台

◆Aクラス（B・Cクラス以外）

各地区5台 計30台

*B・Cクラスのエントリー台数の合計は昨年と同じとし、スカウトの登録人数比率で算出

(2) 指導者養成委員会

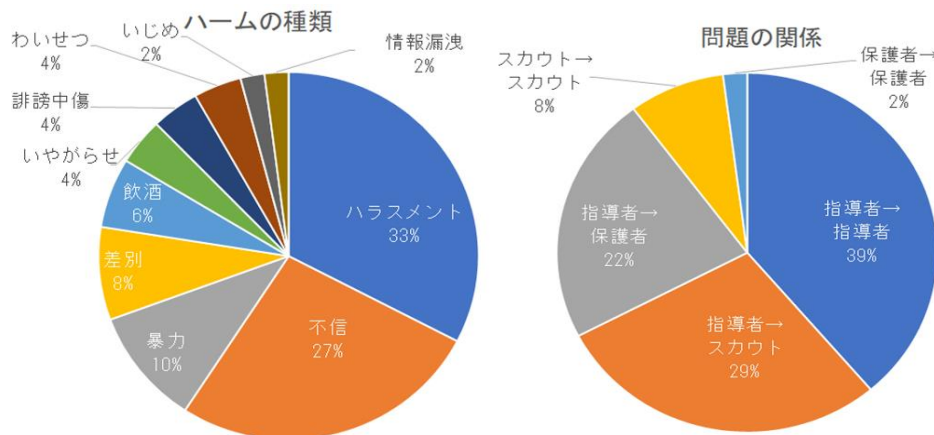
- ① 11月をもって予定していたほとんどの指導者訓練が終了いたしました。残念なことに、参加者が少なく中止になる研修が多いという結果になりました。

訓練のあり方について、また指導者が求める訓練について調査、把握、分析への取り組みが必要と思われます。そして、それを基に求められる研修を作り上げていきたいと考えています。

セーフ・フロム・ハーム研修

12月からセーフ・フロム・ハーム登録前研修が始まります。「セーフ・フロム・ハーム」は、特別なことではありません。人権を尊重するということであり、人として守るべき社会ルールやマナーです。決して、日々の活動に制約を加えるものではありません。危険や危害となるものからの保護、抑止、あるいは防止につながるものです。しかしながら、危険や危害をなくするためには、一部の人が取り組むだけでなく、この運動に関わるすべての人がこれを実行することが必要です。一人ひとりの行動はもちろん大切ですが、同時に組織としての取り組みが大切です。各団におかれましては、「セーフ・フロム・ハーム」の趣旨をご理解いただき、団として組織的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

■ 日本連盟セーフ・フロム・ハーム窓口相談分析



上記のグラフは、日本連盟相談窓口寄せられた相談をハームの種類と問題の関係についてまとめたものです。ハラスメントや不信、差別など人間関係に関するハーム、指導者からのハームが多いことがわかります。日常的なコミュニケーションによる信頼関係の醸成や同じ運動にたずさわる者として互いを尊重する姿勢を育成するなど、風通しの良い、仲間意識の高い組織づくりが求められています。

■ セーフ・フロム・ハーム研修の目指すところ

日本連盟では、セーフ・フロム・ハームを実施することで、より安心してボーイスカウト活動を行えることや、保護者からの信頼感の向上、さらに的確な危機管理等を行える他、この取り組みを地域社会に発信することでスカウト運動の質の向上を目指しています。また、スカウトにとっては、セーフ・フロム・ハームに取り組むことにより、他の人々への「思いやりの心」を育成し、人格・品性を高めることを意図しています。

■ セーフ・フロム・ハーム研修を団・地区で積極的に推進しましょう

初めて指導者になる方には、団の責任においてセーフ・フロム・ハーム研修を受講させることが大切です。「eラーニング」をやってもらい修了証を受け取るだけで終わりにしてはいけません。「eラーニング」は極々初歩の知識を確認する内容にとどまっています。地区で開催されるセーフ・フロム・ハームセミナー（基本編）に参加するようご指導ください。セミナーではコミッショナー等の講師の方から、セーフ・フロム・ハームの目的や目指すところが正しく伝えられるはずで